

DMR-UBZ1 による DVD 鑑賞(19)

1. はじめに

前報(18)に引き続き、手持ちの DVD を聴いていきます。

2. DMR-UBZ1 による DVD 再生方法

前報(1)と同様の再生経路です。

今回は、下記の DVD ソフトを視聴します。

PHILIPS UCBP-1005

モーツアルト セレナーデ第 10 番変ロ長調 K361

フランス・ブリュッヘン指揮 18 世紀オーケストラ

Pioneer PIBC-1072

メンデルスゾーン 室内楽集

ケヴァントハウス弦楽四重奏団

アルツベルガー弦楽四重奏団

3. DMR-UBZ1 による DVD 再生結果

モーツアルトのセレナーデ第 10 番変ロ長調は、オーケストラという名称ですが、コントラバスが加わった古楽器による管楽アンサンブルの演奏です。木管群の古風で優雅な、耳に優しいモーツアルトのセレナーデです。

メンデルスゾーンの室内楽集は次のような構成で、Gohliser 城内での収録です。

【収録曲】

- (1) 八重奏曲変ホ長調作品 20
- (2) ピアノ四重奏曲第 3 番ロ短調作品 3 より第 3 楽章
- (3) 弦楽四重奏曲第 6 番へ短調作品 80
- (4) 無言歌より《デュエット》作品 38-6
- (5) 《恋する女の手紙》作品 86-3
- (6) 無言歌より《ヴェネツィアの舟歌》作品 30-6
- (7) 《ゆりかごのそばで》作品 47-6
- (8) 《紡ぎ歌》作品 67-4 / 歌曲集より
- (9) 《厳格な変奏曲》作品 54

【演奏】

- (1-3) ケヴァントハウス弦楽四重奏団
- (1) アルツベルガー弦楽四重奏団

(2、4-9) ウラディーミル・シュトゥーペル (P)

(7,8) バーバラ・ドブルザンスカ (S)

【制作】

1997年

八重奏曲変ホ長調は、ケヴァントハウス弦楽四重奏団とアルツベルガー弦楽四重奏団の合同での演奏です。ケヴァントハウス弦楽四重奏団は3回ほど聴いていますが、その実力をこの曲でも遺憾なく発揮しており、女性奏者を交えた、より若いメンバー構成のアルツベルガー弦楽四重奏団も負けず劣らずと緊張感を持って演奏しています。

続くピアノ四重奏曲第3番ロ短調と弦楽四重奏曲第6番も緊張感に富んだ演奏です。無言歌より《デュエット》以下の歌曲は、シュトゥーペルのピアノとその伴奏でバーバラ・ドブルザンスカの抑制の効いた知的な歌唱が続きます。

4. まとめ

モーツァルトのセレナーデ第10番変ロ長調は、ブリュッヘン指揮18世紀オーケストラの優雅な古楽アンサンブルであり、メンデルスゾーンの室内楽集は緊張感の溢れる弦楽アンサンブルと抑制の効いた知的な歌唱とピアノ演奏が聴きどころです。

以上